

第 21 回 NMIJ-KRISS サミット

第 21 回 NMIJ-KRISS サミットが、NMIJ と韓国標準科学研究院 (KRISS) により、2026 年 6 月 27 日に京都で開催されました。このサミットは、両機関間の最初の覚書 (MOU) 締結 25 周年を記念するものであり、KRISS と NMIJ の長い協力関係をより強固にするものでした。

サミットには、KRISS から Dr. LEE, Ho Song 所長他 6 名、NMIJ から臼田総合センター長他 7 名の代表者が参加し、「NMIJ における計量学のための AI」、「KRISS における計量技術への AI 技術の利用」、「計量を通じた中小企業支援：NMIJ/AIST の取り組み」、「KRISS の中小企業支援プログラムの紹介」の 4 つのテーマについて議論がおこなわれました。また、NMIJ と KRISS の協力パッケージの更新について報告が行われました。両機関は、量子抵抗標準に関する新たな共同研究を開始すること、および現在進行中の共同研究の大部分を継続することに合意しました。

2026 年 6 月 28 日には、島津製作所 (SHIMADZU Corporation) 基盤技術研究所を訪問し、世界で初めて市販が開始された光格子時計等を見学しました。その後、堀場テクノサービス (HORIBA TECHNO SERVICE, Co., Ltd.) を訪問し、アナリティカル・ソリューション・プラザを見学しました。



堀場テクノサービス訪問時の写真



世界で初めて販売が開始された光格子時計 (手前)、KRISS LEE 所長 (左)、臼田総合センター長 (中央)、島津製作所西本常務執行役員 (右)



第 21 回 NMIJ-KRISS サミット